



つのちょう 第73号

議会だより



3月定例会

令和5年5月1日発行

発行 行 高知県津野町議会
〒(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎 芳章
印刷 刷 (有)笹岡印刷所

主な紙面

令和5年度一般会計予算・・・2P～3P

“ここに注目”施政方針・・・4P～5P

町政を問う（5人が一般質問）・・・10P～18P

表紙：“まちの匠人”（関連記事20P）

令和5年度 一般会計予算

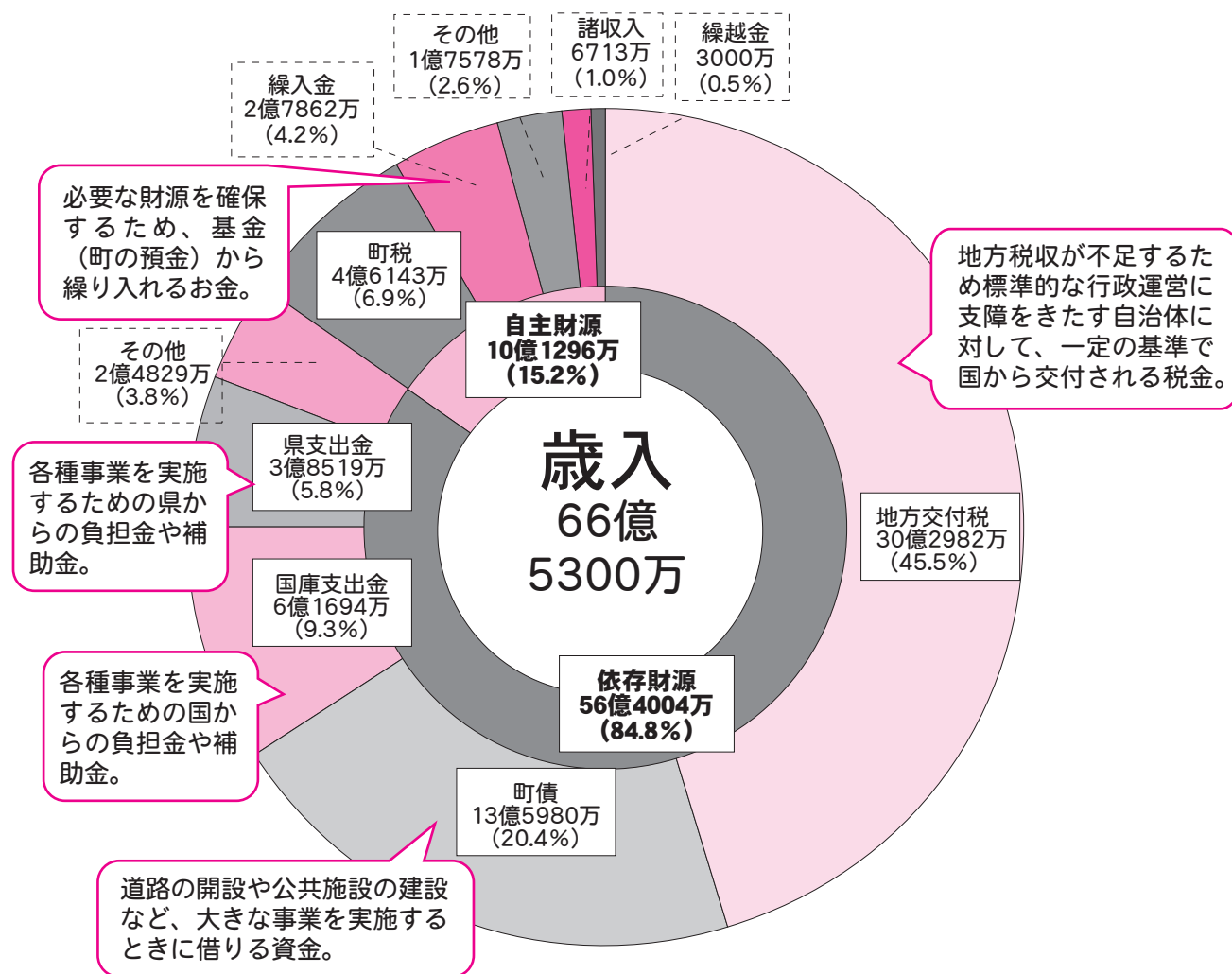
対前年度 5億2500万円
(8.6%) 増**66億5300万円**

3月定例会は、3月2日から9日まで開かれ、令和5年度各会計予算、令和4年度補正予算、津野町個人情報保護法施行条例の制定についてなどを含む、報告5件、町長提出の議案20件を可決、教育長、教育委員任命等の人事案件12件に同意して閉会した。

一般質問には5人の議員が立ち、町の行財政全般にわたり執行部をただした。

一般会計予算歳入構成

(単位 円)

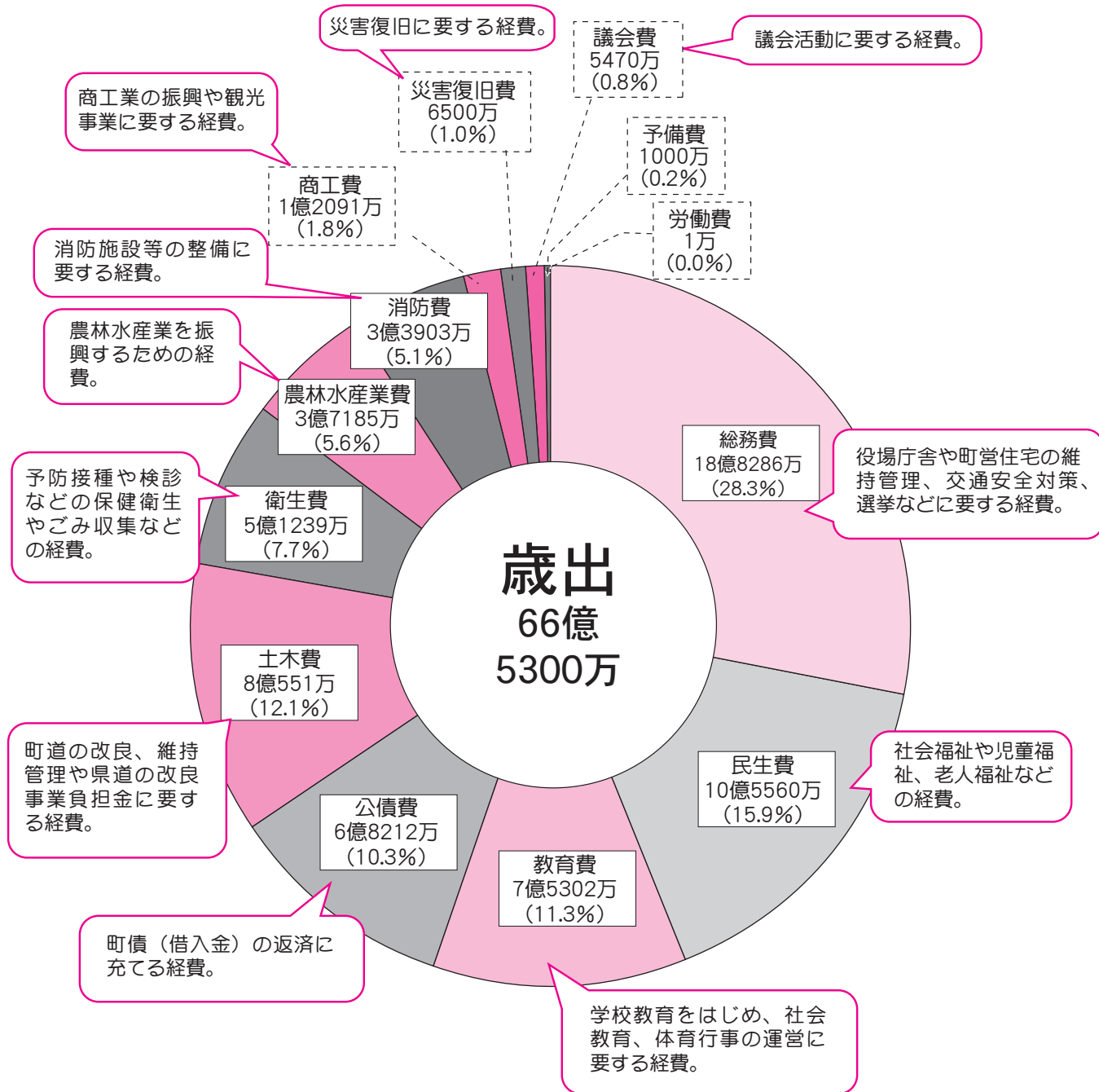


■一般会計・特別会計の予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	66億5300万円	8.6%
国民健康保険事業特別会計	8億7711万円	▲2.8%
（事業勘定）	7億3778万円	▲1.8%
（直営診療施設勘定）	1億3933万円	▲8.0%
簡易水道事業特別会計	4億6847万円	15.2%
生活環境施設特別会計	1億756万円	6.0%
介護保険事業特別会計	7億8490万円	1.3%
後期高齢者医療特別会計	1億835万円	▲1.3%

一般会計予算歳出構成

(単位 円)



予算

こんなところにも使われます。

土砂災害特別警戒区域内住宅建替等支援事業	252万円
里山環境改善事業	240万円
景観保全推進事業	125万円
改正食品衛生法施設整備事業	325万円
出産・子育て応援交付金	100万円

注目！！

教育行政方針

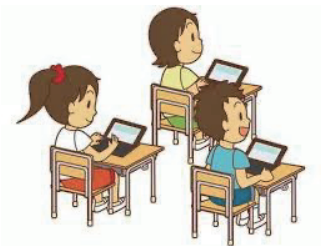


久寿教育長

注目！！

学校教育

I C Tを活用した情報教育、
外国語教育、道徳教育を進める。



生涯学習

牧野博士の朝ドラをきっかけに津野山大学等で
本町の魅力である自然の研究に取り組む。

を設置



「TSUNO応援団」の結成

Uターンの移住者を中心に移住定住に向けた取り組みを推進するため、本町の魅力を発信し、認知度の向上と本町に興味を持ってもらう取り組みを行う。

応援してくれる人による津野町ファンネットワーク「TSUNO応援団」を結成し、関係人口を増やす取り組みを進める。

移住ー！





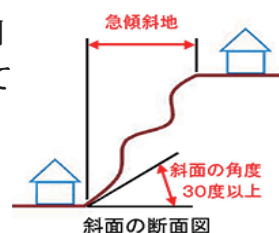
池田町長

ここに

施政方針

令和5年度からの新規事業

- ① 建築物の構造や、開発行為に制限のかかる土砂災害特別警戒区域について宅地評価額の20%減額と、住宅の建て替えを支援。
- ② 住宅の裏山で倒木の危険性のある立木の除去に支援。
- ③ 荒廃農地や遊休農地の回復を町単独で支援。
- ④ 漬物製造業の許可の取得に必要な設備等の改修に支援。
- ⑤ 妊娠・出産に、子ども子育て応援ギフト各5万円の支援。
- ⑥ 福祉タクシー券で、高知高陵交通バスと津野町コミュニティバスも利用可能に。

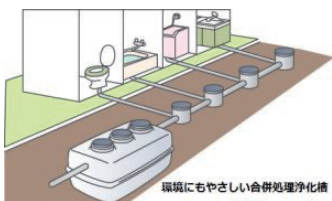


※それぞれに条件があるので確認して下さい。

水道・浄化槽の料金見直し

令和6年度から簡易水道事業特別会計及び生活環境施設整備事業特別会計を公営企業特別会計に移行。

独立採算の観点から、令和5年度に料金の見直しや耐用年数を過ぎた浄化槽の取り扱いなどの制度を見直す。



シルバー人材センター

さまざまな知識や技術を持つ元気な高齢者の社会参加といきがいくりの場としてシルバー人材センターの設置を進める。

令和6年4月からの須崎市・中土佐町シルバー人材センターへの広域加入に向けて取り組む。



専決処分の報告(林道東津野城川線車両損傷事故損害賠償)

林道東津野城川線での車両損傷事故損害賠償額の決定について、令和5年1月25日に専決処分したもの。



専決処分の報告(林道不入山線車両損傷事故損害賠償)

林道不入山線での車両損傷事故損害賠償額の決定について、令和5年1月26日に専決処分したもの。



専決処分の報告(令和3年度第14-1号町道郷内川向線道路改良工事請負契約の変更契約の締結)

令和3年度第14-1号町道郷内川向線道路改良工事請負契約の変更契約の締結について、令和4年12月9日に専決処分したもの。



専決処分の報告(令和4年度船戸分団1部消防屯所兼避難場所新築工事請負契約の変更契約の締結)

令和4年度船戸分団1部消防屯所兼避難場所新築工事請負契約の変更契約の締結について、令和4年12月14日に専決処分したもの。



専決処分の報告(令和4年度津野町簡易水道(樺ノ川2工区)施設整備工事請負契約の変更契約の締結)

令和4年度津野町簡易水道(樺ノ川2工区)施設整備工事請負契約の変更契約の締結について、令和5年2月17日に専決処分したもの。



督促手数料の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例

令和5年4月から町税、国民健康保険出産費資金貸付金等に関する督促手数料を廃止することについて、関係する10条例を一括して改正するもの。



津野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和4年8月8日付けの人事院の国会及び内閣に対する職員の給与改定に関する勧告の趣旨に沿って、会計年度任用職員の給料月額を改定するもの。



津野町個人情報保護法施行条例の制定

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、現行の津野町個人情報保護条例を廃止し、改正法を施行させるための条例を新たに制定するもの。



津野町個人情報保護審査会条例の制定

個人情報の保護に関する法律に基づく、個人情報保護制度の適正かつ公正な運営を確保するため、津野町個人情報保護審査会を置くもの。



津野町コミュニティバス条例の一部を改正する条例

津野町コミュニティバスの利用促進につなげるため、津野町福祉タクシー・バス利用券で利用できるよう津野町コミュニティバス条例の一部を改正するもの。

賛成討論 川上智子
町民からの要望が実現したものである。小さな声に耳を傾け寄り添った条例改正だということで、賛成討論とする。



津野町奨学金貸与条例の一部を改正する条例

津野町奨学金貸与に係る申請書等の内容の充実を図るため、津野町奨学金貸与条例の一部を改正するもの。



津野町分担金徴収条例の一部を改正する条例

文化的景観重要構成要素修復保存事業を補助制度に移行することから、津野町分担金徴収条例の一部を改正するもの。



令和4年度津野町一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2億2100万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億2900万円とする。

令和4年度津野町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ事業勘定5万3千円、直営診療施設勘定1276万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ事業勘定7億6009万2千円、直営診療施設勘定1億5712万9千円とする。

令和4年度津野町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2089万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億8782万4千円とする。

令和4年度津野町生活環境施設整備特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ900万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9246万8千円とする。

令和5年度津野町一般会計予算

歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ66億5300万円と定める。

令和5年度津野町国民健康保険事業特別会計予算

歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ事業勘定7億3777万5千円、直営診療施設勘定1億3933万4千円と定める。

令和5年度津野町介護保険事業特別会計予算

歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ7億8489万9千円と定める。

令和5年度津野町簡易水道事業特別会計予算

歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ4億6846万7千円と定める。

令和5年度津野町生活環境施設整備特別会計予算

歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ1億755万7千円と定める。

令和5年度津野町後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ1億834万5千円と定める。

字の区域の変更

上井田宅地分譲団地整備事業用地について、字の区域を変更することにより、事業計画地内を同一の字にするもの。

津野町道の路線の廃止

道路法の規定に基づき町道の4路線を廃止するもの。

津野町道の路線の認定

道路法の規定に基づき町道の2路線を認定するもの。

津野町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、津野町議会の個人情報保護条例を新たに制定するもの。

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期：令和5年3月23日から令和8年3月22日まで



ひろやす
西森 裕保氏（再任）
中土佐町久礼
昭和27年生



まこと
大崎 誠氏（再任）
津野町杉ノ川甲
昭和38年生



みつひろ
黒川 満洋氏（再任）
津野町北川
昭和32年生

農業委員会委員の任命

任期：令和5年6月1日から令和8年5月31日まで



ゆきひさ
石川 幸久氏（再任）
津野町杉ノ川乙
昭和23年生



としふみ
川西 利文氏（新任）
津野町芳生野甲
昭和48年生



じつお
川村 実男氏（再任）
津野町三間川
昭和55年生



きょうこ
宇都宮 京子氏（再任）
津野町北川
昭和33年生



かずひろ
戸田 和宏氏（再任）
津野町桑ヶ市
昭和44年生



よしふみ
高橋 好文氏（新任）
津野町久保川
昭和32年生



ふじお
前野 富士男氏（新任）
津野町杉ノ川甲
昭和41年生

教育長の任命

任期：令和5年4月1日から令和8年3月31日まで



くみこ
久寿 久美子氏（再任）
津野町芳生野甲
昭和31年生

教育委員会委員の任命

任期：令和5年3月23日から令和9年3月22日まで



すみこ
山崎 住子氏（再任）
津野町新土居
昭和32年生

委員の選任

町内工事現場を調査（2月7日）

産業建設常任委員会報告

町内13カ所の現状および進捗状況等を担当課の説明を受けながら確認。

各現場については担当課職員の指導、努力により順調に進捗している。また、繰越事業や翌債の活用により年間を通じてまんべんなく事業が確保できている。

今般、須崎土木事務所や須崎林業事務所発注の現場も調査したが、今後においても国や県との連携を密にし、事業を積極的に活用するとともに津野町全体での事業量の確保が継続されるよう注視したい。



県職員により説明を受ける

全国町村議会議長会表彰

自治功労者表彰

令和5年2月8日全国町村議会議長会より、議会議員として15年以上在職した功績が認められ表彰されました。



大崎 公孝 議員

問 本町の茶業をどう守るか

答 茶業振興計画を策定中



田中 一孝



国道沿いの茶園も荒廃が進んでいる

田中
本町の主な茶産業は桂、入道、宮谷が主な産地だが高齢化が進み、栽培農家戸数が減ったため、収量が年々減少している。
これらの茶所が衰退し続ければ、数年後には本町の主産業は危機的な状況を迎えると考ええる。
最近、J A高知県は酒米の工場閉鎖や日高のシュガートマト事業から撤退の報道があった。
本町の主産業であるお茶を絶対守っていくという姿勢が必要であると考えられているか。

福井産業課長
行政・生産者・J A等の関係者も非常に危惧している。
令和4年度に津野茶生産者組合、販売事業者、J A高知県、町などの関係機関で現状の課題を共有・整理し茶園再生に向けた津野町茶業振興計画を策定中。

池田町長
J A高知県の大胆な改革には疑問もあるが、自治体の中には多くが関わっており町村会で協議して要望をかけた。
農業振興でJ Aは重要な位置を占めるので、今後J Aの動きを注視しながら中山間農業の振興を進めていく。

田中
四万十川流域重要文化的景観の桂地区の茶園が非常に荒廃しているが、再生できないか。数年後には危機的な状況になる。
道の駅布施ヶ坂のデッキから茶畑を見た景色がポスターに採用され有名になったが、今は当時と全く違う。素晴らしい農業自然遺産である具体的な取り組みはできないか。

問 文化的景観の茶畑が荒廃

答 茶畑の再生に取り組む



かつて茶畑は尾根まであったが

福井産業課長
桂地区の茶畑は平成24年に四万十川流域文化的景観に選定された。近年は生産農家が高齢化している。
同地区は5年前まで13戸の生産農家があったが、現在9戸となっている。
土佐3大銘茶と言われた本町のお茶と文化を将来に引き継ぐ必要がある。関係者とともに荒廃茶園の再生に取り組んでいく。

一般質問

福井産業課長

問 国道の事故防止対策強化を
答 住民からの要望を

田中 姫野々地域の国道周辺には公共施設、金融機関や商店が多く道路横断等で人身・交通事故が多発している。事故防止のために注意喚起の取り組みが必要ではないか。



姫野々地域は交通事故の危険大

大坂総務課長 姫野々地域での交通事故は過去3年間の物損事故15件のうち、ほとんどがスパーやコンビニに出入りする車両や駐車場内の事故で、人身事故は過去10年間で3件である。

夕方には猛スピードで姫野々地域になって追い越しをする車が多く非常に危険である。何らかの対策が急がれると考えるが、どうか。

田中 四国カルストは日本3大カルストだ。そこでカルストに関係する市町に働きかけて「全国カルストサミット」を提唱できないか。

カルストはそれぞれに特徴がある。日本3大カルストという大きな自然遺産を活かして関係市町の往来による経済効果、産業振興、観光振興、文化的・人的交流などその効果は計り知れないものがある。

池田町長 現在いろいろなサミットが開催されている。サミットは、その目的・テーマを開催地主体に議論をして全ての市町が賛同し、開催となる。四国カルストを主体としたサミットとなれば、まずは連携協定を結ぶ5市町で協議し、その上で秋吉台、平尾台の関係自治体と調整しなければならぬため、開催に向けた考え方の合意が必要。すぐにということにはならない。

問 全国カルスト
サミットの開催を
答 考え方の合意が必要



四国カルストを全国区へ

問 その他の質問
葉山荘前の信号機設置はどうか。
答 交通量調査の結果基準を満たしていない。状況により再協議の可能性も。

問 避難行動要支援者の範囲拡大は

答 防災関連の協議で検討



西元 和代

西元

妊産婦や乳幼児、重度のアルzheimerを持つ人など避難時に配慮の必要な人はたくさんいる。避難個別計画の本町の現状と課題、今後の対象者の拡大の可能性は。

下元介護福祉課長

対象者は要介護3〜5、身体障がい者手帳1・2級所有者、療育手帳A所有の知的障がい者、単身世帯の精神障がい者保健福祉手帳1・2級所有者、障がい者総合支援法適用の難病患者83人のうち、情報開示に同意した56人計画は年度末までに完了予定。見直しは年一回で、令和2年度以降100%の策定率である。

社会福祉協議会・民生児童委員・自主防災組織・消防・警察などの避難支援者に計画を共有しているが、災害時に計画通りに動けるかが非常に不安な課題。

池田町長

対象者は、地域防災計画の中に位置づけているが、支援を必要とする様々な人がいる。防災関連の協議の中で位置づけていかなければと考える。

常に更新する必要があるため、いろんな団体の協力を要する。協議の中で検討していきたい。



問 小規模多機能型居宅介護の開設を

答 組合統合後に検討

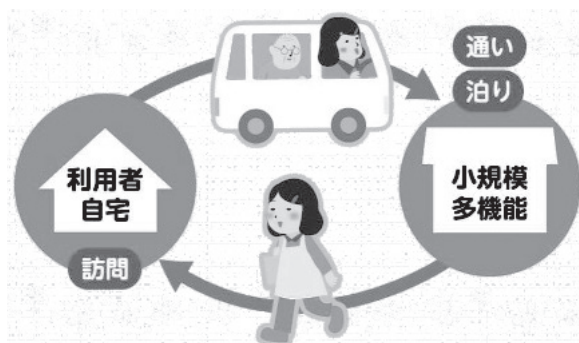
西元

小規模多機能型居宅介護の運営者に、スタッフにも喜ばれる理想的な経営方法や、総合事業の通所Bをワンフロアで実施することでサービス利用頻度の低い人も含め住民に非常に喜ばれることを聞いた。今後の高齢者施設のあり方と併せて、小規模多機能型居宅介護と通所Bの併設を検討しては。

下元介護福祉課長

葉山荘・高原荘・社会福祉協議会は経営が厳しく町が負担している。

小規模多機能は利用回数の制限がなく利用料が定額、顔なじみスタッフによる安心したサービスが受けられる等、在宅生活上、非常に良いサービスである。



通所Bの開設は、あったかふれあいセンターやサービス付き高齢者住宅を併設した施設もあるように社会資源、制度を組み合わせた介護サービスは検討できる。両組合の統合後、一選択肢として検討していきたい。

一般質問

問 計画から訓練までの予算を地域に

答 まずは自主防災組織の強化を

西元

より実効性のある個別避難計画を行政が作り続けるのは本当に難しい。災害時の様々な想定もだが地域の互助のチカラは必須。個別避難計画作成から、それを使った訓練までに予算をつけて各地域で進めることで、より実効性のあるものになるのでは。

池田町長

個別計画も含め情報を共有しながら避難所の運営をしていくことが重要だが、現段階では非常に難しい。まずは精華地区をモデルに自主防災組織を強化し、地域ぐるみで防災を考えるように広めていきたい。

問 液体ミルクを備蓄品に

答 粉ミルクからの移行を協議

西元

本町の指定避難所は十分か。備蓄品の現状はどうか。また、避難所での環境や衛生面からも推奨されている液体ミルクは厚労省による災害時における支援体制の整備の項目にもある。給食等での活用などの運用計画も含め備蓄品に加えては。家庭でのローリングストックに関しましては各地域で最も人が集まると想定される年末年始の会などで職員が情報提供をしては。



常温で手軽にあげられる
哺乳瓶型の液体ミルク

大坂総務課長

現指定避難所15カ所の収容可能人数3112人に対し、県による被害想定で避難者が最も多いとされる災害発生の一週間後の人数が750人であり対応可能だが、津波による須崎市等からの広域避難も想定される。引き続き広域避難の運用について協議を重ね指定避難所の見直しも検討する。備蓄計画は約700人を想定しアルファ米3460食、500mlペットボトル水6169本をはじめ様々。防災学習などで運用している。

液体ミルクは粉ミルクからの移行を協議したい。

池田町長

各地域の皆さんに行政のことを知っていただく上でも様々な集まりに職員が入ることは非常に有効。まずは職員が行政の情報を十分に理解した上で繋げていきたい。



中山 昭英

問 公共事業の取り組みは

答 一定の事業量を確保

中山

令和5年度の町の公共事業への予算編成の思いと、繰越、翌債分の概要を聞く。県工事についても、分かる範囲での見込み額を。

池田町長

建設業界の安定的な経営や労働力の確保、育成のため、一定の事業量の確保と年間の施工時期の平準化に努めている。

事業は、災害に強い町づくりとして道路改良・橋梁修繕・簡易水道を継続。危惧されている通学路の安全対策に関係機関と連携して取り組む。

吉村建設課長

当初予算に10億円、前年の繰越見込み額が2億5千万円、合計12億5千万円で前年比115%となっている。県の見込み額は、要求額が10億8千万円、繰越額が9億3千万円、合計20億1千万円で前年比106%となっている。

問 かわうそ公園周辺の安全対策を

答 見直しが必要であれば実施

中山

かわうそ公園周辺は、駐車場・総合センター・葉山の郷・消防出張所・にじいろ園があり、これに役場本庁舎が加わってくると、公園前の道路は交通量が増大して公園に出入りする子どもへの危険度が高くなる。本庁舎の工事着手までに安全対策を講じるべきではないか。

大坂総務課長

安全対策として、体育館からの下りに9カ所と公園への横断箇所を示す2カ所の滑り止め舗装、公園側にロープ柵を設置している。

庁舎移転に伴う車の増加を想定し、保育園から総合センターまでの南側に歩道設置工事を発注。公園への出入りを2カ所に限定するようにしている。公園側のロープ柵も見直しが必要であれば実施。



問 農業用水路の補修に支援を

答 中山間地域等直接支払制度への加入で

中山

農業用水路・道路は公有財産だが、膨大な量なので地域や受益者の出役で補修してきた。近年は少子高齢化で修繕が困難となり耕作放棄地が増え始めている。

農道は、制限付での補助制度があるが、水路については中山間直接支払区域内しか補助がなく、支援が無い地域との格差が生じた。補助制度を拡充できないか。

福井産業課長

中山間直接支払制度の協定数・面積が減少していることから、協定組織の継続を支える支援策としたものであり、この事業を活用した協定組織は令和7年からの協定を継続することを条件としている。区域外への支援は考えていない。

池田町長

4～5期の時点で40haの農地が制度からなくなり、荒廃化が進んで町の支援を待っている。

地域で一人しか営農していないなど、継続の確約ができないところへの支援は考えていない。制度に加入している地区は、次期制度に加入する条件があり、継続が約束できるので町も支援ができる。

支援が必要な人や地区は制度に加入を。



支援がほしい農業用水路

問 地区の水道施設の保全を

答 緊急の場合は支援

中山

昨年の新聞報道によれば、南海地震対策として被災後の住民生活や避難所の運用には、地区管理の水道施設を維持しておくことが必要とあった。

地区水道施設の保全に対し支援策を講じるべきではないか。

池田町長

水道施設にとつては地震による災害が一番被害が大きく、全ての給水が止まることが想定される。

津野町は地形的に山の表流水を取っているところが多いので緊急の場合には地区管理の施設の使用に支援はあるが、通常の管理は地区にお願いする。



地区の水道施設

その他の質問

問 コロナ禍を移住促進のチャンスに

答 TSUNO応援団でUターンの移住を進める

一般質問

問 不安・不満です

答 座談会を復活させて……



川上 智子

川上

平成17年2月1日、葉山村と東津野村が合併し、20周年を迎えようとしている。

寂れゆく地域に不満と不安を感じている住民もいる。町長はこの思いをどのように理解し、それを払拭していくのか。

町長の思いを住民に伝える努力が必要では。

池田町長

住民のその思いこそ、ふるさとへの強い想いであり地域づくり、まちづくりのチャンスであると考える。

安心して住み続けられるためにどうすればいいか、住民自身にもしっかりと考えていただきたい。行政はサポートや地域が元気になるよう仕掛けていきたいと思っている。

早期に座談会を復活させ意見交換を行いながら地域づくりを進めていきたい。

問 当事者たちの目線に立って

答 ご意見をいただきながら

川上

町内の主要な場所がバリアフリーになっているか、今一度当事者たちの目線で点検しては。また、新庁舎建設等に当事者たちの声を反映させているのか。

大坂総務課長

新本庁舎については基本設計段階から、職員で構成するプロジェクトチームのメンバーに障がい者の方も加えて検討を重ねてきた。今後予定されている大規模改修においても、意見を伺いながら進めていきたい。



西庁舎に新設されたあったかパーキング

一般質問

問 西庁舎空きスペースの活用は

答 吟味し、進める

川上

西庁舎の空きスペースを活用し介護予防や健康増進のために利用しては等、様々な声がある。今後の活用方法を問う。

下元介護福祉課長

会議室等は現在も使用している。3階の議場については今後検討が必要。

新庁舎完成後、組織体制が整い次第、改めて西庁舎の空きスペースの活用については検討していきたい。

池田町長

これから先どういったものが望まれるのか、既存の施設も加味した上で今後の施設の活用を吟味し進めていかなければならない。



今は使われていない議場

問 見えてきた課題は

答 人手不足

川上

産業課は産業課と観光推進課に、企画調整課はまちづくり推進課へと組織改編後まもなく一年。成果と見えてきた課題は。

また今後どのような視点に立ってまちづくりを推進していくのか。

池田町長

近年、生活スタイルや価値観が多様化し、時代に合った行政運営を進めていく上で即、課題解決の効果が見える組織体制が必要と考えた。そのための改編を行い、ある一定の成果が見え始めていると感じる。

課題は人手不足、次を担うリーダーが生まれていない。強化すべきは、人づくり、担い手づくりだと思う。そうすることで、効果のある施策を打ち出せる。

今後は、時代の変化に的確に対応しながら町民の声を活かしたまちづくりが理想と考える。



竹村 博仁

問 通学路の点検と対処状況は

答 27カ所のうち未対処が5カ所

がたつきが直された側溝の蓋



竹村
児童生徒の登下校の安全確保は重要である。通学路交通安全プログラムの安全点検の結果で、問題となった場所は早急に改善すべきだが状況は。
通学路の点検は、当事者である児童生徒の目線、季節ごとのリスク等を考慮して実施しているか。

久寿教育長

平成28年度から、通学路交通安全プログラムに基づき実施しており、令和4年度も10月に点検し、ホームページに結果を掲載している。

これまで27カ所の対策場所があり、対策中・対策予定を含め22カ所が対策済みである。

未対処の1件は橋梁の拡幅を伴うため検討課題となっており、他の4件は高知県や警察署の関係機関へ対応を依頼している。

安全点検は年に1回行っているが、他にも学校から家庭へのアンケートや、地域住民からの声をいただいて対応している。冬季の凍結についても通学バスの運転手に見てもらいなど、通学路の安全を図っている。

竹村

昨年末の大雪の被害と対応状況を問う。
東地区では、大雪に慣れていないため融雪剤を使えなかった地域もあり、今後にむけ適切な対応を。

大坂総務課長

人的、家屋への被害報告はなかった。

被害があつた場合は、国の被災者支援や被災者生活再建支援制度等により支援を受けることになる。

福井産業課長

ハウスの被害が5件、お茶の枝折れなどがあつた。ミョウガ等施設園芸農家にはJ-Aから注意喚起があり目立つた被害はなかった。

被害農家が加入する農協でハウス2件が補償対応されたが、他は適用外となっている。

問 大雪の影響と対策は

答 一部農業施設などに被害



雪による倒木

吉村建設課長

町道への倒木3件があり対応した。簡易水道等の生活インフラ施設への被害はなかった。

凍結防止剤は東西各地区1カ所の保管場所を受け取り利用してもらっている。今後は年末の地区長会などで周知したい。

一般質問

読

クイズ

前回の答えは「アメジスト」でした。
厳正な抽選の結果、下記の5人が当選
されました。おめでとうございます。

当選者

大野	坂本	幸子	様
船戸	松岡	恵子	様
永野	大崎	加代	様
永野	大崎	芳	様
船戸	松岡	節子	様



お寄せいただいた感想
ご意見の一部紹介

議会だよりに目を
通し、あらためて課
題に気づくという私
です

アメジストのブローチ
の一つくらい自分へのご
褒美にしたいものだと思
えが出た瞬間楽しい思い
を味わいました。

今回のクイズは
19面にあるよ。
挑戦してね！



津野町議会だより 発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	竹村博仁
委員	中山昭英
委員	大地真人
委員	川上智子
委員	田中一孝

※分かりやすい紙面にと
心がけています。読後
のご感想、ご意見をお
寄せ下さい。

〒785-1020

津野町永野四七一一

津野町役場議会事務局

まちの匠人

(表紙の紹介)

たくみ ひと

子ども司書 市川寧菜さん(姫野々)・西内乃愛さん(姫野々)

学校の図書委員に
なりたいです。
それから…本を書
いてみたいと少し思
ったりします。
しずな

私たち、図書館
まつりのスタッフや
まつりのバトルなど
ビブリオバトルで
活動してます！
図書館のポップも
書いたよ。

好きなジャンルは
ファンタジー。
本は自分が考えて
なかったことを知る
のがいいです。
のあ

津野町では平成30年
から始まった養成講座
を経て19人の子ども司
書が誕生しています。

